

勞働爭議調停法案外一件特別委員會會議事速記録第一號

付託議案

治安警察法中改正法律案

委員氏名

委員長 公爵二條 厚基君
副委員長 謙田 榮吉君
石原 健三君
男爵稻田 昌植君
添田 壽一君
赤池 濃君
永田 仁助君
金杉英五郎君
山崎 龜吉君

大正十五年三月二十四日(水曜日)午前十時十九分開會

○委員長(公爵二條厚基君) ソレデハ是ヨリ開會イタシマス、勞働爭議調停法並ニ治安警察法中改正法律案ノ二案ヲ一括シテ議題ニ供シタイト思ヒマスガ、御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○金杉英五郎君 政府委員カラノ御説明モアラウト存ジマスルガ、其前ニチヨット政府委員ニ伺テ置キタイコトハ、目下、衆議院ノ議題トナッテ居リマスル、勞働法案ハ速ニ通過シテ、コナラヘ廻ルト云フ御見込ガアリマスノデスカ、ソレヲ先以テ伺テ置キタイ

○政府委員(俵孫一君) 衆議院ノ勞働組合法ノ審議ハ政府デモ頻ニ急イデ交渉シテ居リマスルシ致シマスルガ、尙ホ審議中デアリマス、チヨット見込ト云フコトヲ政府トシテハ申上ダ兼ネマスガ、尙ホ此上ニモ督

勵シテ、出來ルダケ進行サセタイト思ウテ居リマス

○金杉英五郎君 政府委員ニ今御伺ヒ申スト云フコトハ、甚ダ當ヲ得ザルコトカモ存ジマセヌガ、會期ハ御延長ノ見込デアリマス、或ハ二十五日デ仕舞ヒニナル積リデアリマス、ソレヲチヨット伺ヒマス

○政府委員(俵孫一君) 其點ハ私ヨリ御答ヘシカネマスルガ、出來ルダケ衆議院ニ於キマシテモ、貴族院ニ於キマシテモ、議事ノ御進行ヲ願フテ、成ルベク會期中ニ議事ノ審了ヲ願ヒタイト云フ積リデハナイカト想像イタシマス

○金杉英五郎君 若シ會期中ニ議事ヲ審了シタイト云フ時ニ當リマシテ、此勞働爭議調停法案ト云フヤウナ重大問題ヲ二日位デ議了セシムルト云フ御見込デアリマス、或ハ議了シ得ルモノデアルト云フ御考デアリマス

○政府委員(俵孫一君) 其點ニナリマスルト云フト誠ニ政府ト致シマシテハ、此會期切迫ノ際ニ斯ノ如キ重要法案ヲ御審議ヲ願フト云フコトハ、如何ニモ十分ナル御審議ノ時間ガ無イコトニ恐縮イタシマスルガ、希ハクバ、出來ルダケ十分ニ會期ノ許ス限リニ於テ御審議ノ上デ、御審了アラムコトヲ切望イタシタイノデアリマス

○金杉英五郎君 然ラバ例ニ依リマシテ、一應、政府委員ノ御説明ヲ伺ヒマシタ上デ、御質問ヲ申上ダタイト思フ

○政府委員(長岡隆一郎君) 勞働爭議調停法案ハ昨日、本會ノ議場ニ於キマシテ、内務大臣ヨリ簡單ニ説明ヲ申上ダテゴザイマ

スルガ、尙ホソレニ附加ヘマシテ、聊カ細目ニ互リマシテ申上ダタイト考ヘテ居リマス、年々、此勞働爭議ノ爲ニ喪失イタシマスル日數ガ非常ニ多イト云フコトハ、昨日、内務大臣カラモ申上ダマシタガ、此發生ガ已ムヲ得ザル事由ニ依ルモノハ是ハ致方ナイト致シマシテモ、當事者ガ事實ヲ誤解イ

タシマスル爲ニ、或ハ當事者間ニ意思ノ疏通ヲ缺キマスル爲ニ無用ノ爭議ヲ起シマスルコトハ、是ハ事業主ニ取リマシテモ非常ナ苦痛デゴザイマスルシ、勞働者ニ取リマシテモ大ナル苦痛デアリマスルシ、尙又、此兩者以外ノ第三者ニ取リマシテモ、時トシテ少ナカラザル迷惑ヲ及ボス事例ガ多イノデゴザイマス、而モ此爭議ガ一度勃發イタシマスルト、私共ノ經驗イタシマシタ實例ニ依リマスルト、雙方：：特ニ勞働者側ニ於キマシテ感情ガ高潮イタシマスル結果、唯、

勝敗ヲ爭フト云フヤウナ勢ヲ生ジマシテ、當初ノ爭議ノ要點ナルモノハ何時ノ間ニカ之ヲ逸シテシマヒマシテ、唯、勝ツカ、負ケルカト云フヤウナ昂奮シタル狀態ニ於テ、遂ニ血ヲ見ルヤウナ忌ハシイ結果ヲ生ズルコトモアルノデゴザイマス、之ヲ成ルベクナラバ防ギマス、或ハ少クモ此爭議ノ日數ヲ減少スルト云フコトハ、產業界ノ平和ノ上ニモ非常ニ望マシイコトノヤウニ考ヘテ居リマス、殊ニ此公益事業ト云フ文字ヲ世間デ用キテ居リマスルガ、此公衆ノ日常生活ニ直接關係ノ有リマスル事業ニ於テ爭議ガ起リマスルト云フト、是ハ何等、此爭議ニ關係ノ無イ社會ノ第三者ニ非常ニ迷惑ナコトデアリマシテ、突然、水道ガ止マリ、

瓦斯ガ止マリ、電車ガ止マルト云フヤウナコトハ、實ニ此公衆トシテモ忍ビ難イ苦痛ヲ受ケル譯デゴザイマスカラシテ、是等ノ仕事ニ付キマシテハ、爭議ノ起リマシタ際ニ、マダ同盟罷業ト云フ狀態ニ至リマセヌデモ、爭議ガ起リマシタ際ニハ、當事者雙方ノ申請ノアリマシタ場合、若クハ當事者ノ申請ノナイ場合ト雖モ、行政官廳ニ於テ此調停ニ付シタイ、又是等ノ日常生活ニ影響ノ無イ單純ナル事業デアリマシテモ、事業主側及勞働者側ニ於テ調停委員會ヲ開催シタイト云フ希望ノアリマシタ際ニハ、之ヲ開催イタシマシテ、圓滿ニ終結ヲ告ゲタイト云フコトガ大體ノ案ノ骨子デゴザイマス、從來ノ經驗ニ依リマシテモ、爭議ノ解決イタシマスル場合ニハ、多ク官公吏其他ノ第三者ガ仲裁ニ立チマシタ場合ニ、解決ヲ見ルコトガ多イノデアリマスルガ、從來ハ爭議ガ稍、コザレマシテ、行惱ミマシタ場合ニ、此仲裁ヲ頼ムト云フヤウナコトデ、無用ノ浪費ヲ致シマスルガ故ニ、平素ニ於テ相當ノ準備ヲ整ヘテ置キマシテ、初メヨリ此調停委員會ヲ開キマシテ、雙方隔意ナキ意見ヲ交換イタシマシテ、事業主ノ側ニ於キマシテハ、其經營狀態ノ秘密ニ涉ラザル限り、事業ノ狀況ヲ告ゲ、又勞働者側カラ選出サレタ委員ガ其要求ヲ説明イタシマシテ、第三者ノ他ノ委員ガ之ニ加ハリマシテ折衝ヲ重ネマシタナラバ、大體ニ於テ勞働爭議ノ幾割ハ同盟罷業ニ至ラズシテ解決シ得ルモノデアラウト考ヘテ居リマス、是等ノ事例ハ外國ニ於キマシテモ大體、成功ヲ致シテ居ルノデゴザイマシテハ、此勞働調停

ノ法律ガ出マシタ爲ニ、著シク爭議ノ度數ヲ減少シ、又人員ヲ減少シテ居ルト云フ例ガ多イノデゴザイマスカラシテ、一日モ早ク此制度ヲ設ケタイト云フ考デゴザイマス、尙ホ唯今申上デマシタ第一條ニ列舉イタシテ居リマスル公衆ノ日常生活ニ密接ノ關係ノアリマスル仕事ハ、是ハ勞資兩方ノ關係ノナイ第三者ヲ保護スル爲ニ、此調停ノ期間中ハ同盟罷業ヲ煽動誘惑スルコトヲ禁ジテ居リマスノデ、是ハ勞働者ト云フ狀態カラ見マスルト、一條ニ列舉シテアリマスル事業モ其他ノ事業モ勞働者タル境遇ニ變リハナイノデアリマスケレドモ、ソレ等ノ工業ノ仕事ニ從事シテ居リマスル者ハ、先ヅ或ル程度ノ義務ヲ負擔サセルト云フコトハ社會ノ秩序上ニ於テハ已ムヲ得ナイコト、考ヘテ居リマス、從ヒマシテ此治安警察法ノ十七條ハ永イ懸案デアリマシタガ、此爭議調停法ノ提出ト共ニ最早之ヲ削除イタシマシテモ差支ハナカラウト考ヘマシテ、同時ニ之ヲ提出イタシタ次第デゴザイマスカラ、是ハ私カラ申上デル迄モナク、獨リ勞働運動ニ限ラズ、其他ノ社會運動ニ於キマシテモ、日本ノ固有ノ秩序ヲ破壊シ、或ハ甚シキハ我國ノ國體ニ觸レル、又現在ノ資本制度ノ根本ニ對シテ戰ヲ挑ムト云フ如キ思想ナリ、行動ナリニ對シマシテハ、是ハ刑罰法令ニ依テ嚴重ニ取締ル必要ガアルコトハ申ス迄モナク、又思想上ニ於テモ相當之ヲ善導スル必要ガアルコトハ申ス迄モナイコトデアリマスケレドモ、唯平穩ナル手段ニ依テ合法的ノ方法ニ依リマシテ、勞働者ガ團結シテ自己ノ主張ヲ貫徹スルト云フコトニ對シマシテハ、此事ガ治安ニ害ノナイ限り、餘リ之ヲ抑壓スルト云フコトハ却テ社會秩序上、面白クナイ結果ヲ來シハシナイカト考ヘルノデゴザイマ

ス、殊ニ公益事業ニ付キマシテハ唯今申上デマシタ爭議調停法ノ十九條ニ勞働取締ノ規定ナリ、又之ニ對シテ刑罰ノ制裁ガゴザイマスルカラ、是等ノ關係ノナイ單純ナル事業、單純ナル事業ト申スト言葉ヲ成シマセヌガ、公衆ノ日常生活ニ直接影響ヲ及ボサナイモノニ對シマシテ、是ハ唯、事業主、之ニ使用サレテ居リマスル勞働者トノ私ノ契約上ノ爭デゴザイマスカラ、之ニ對シテ國家ガ餘リ深ク干與スルト云フコトハ今日最早其必要ガ無クナッタカノヤウニ考ヘテ居リマス、殊ニ暴行、脅迫等ノコトニ關シマシテハ、是ハ申ス迄モナク如何ナル目的ニ出デマシテモ、事ガ暴行脅迫ニ當ルト云フコトハ不都合ナコトデアリマスカラシテ、是ハ刑法ノ刑罰法令ニ讓リマシテ、又公然誹毀ト云フヤウナコトモ、是モ刑法ノ名譽毀損ノ規定ニ讓リマシテ、單純ナル誘惑煽動ヲ致スト云フコトニ對シマシテハ最早此十七條ノ規定ヲ削除イタシマシテモ、社會ニ害ヲ生ズル虞レガナイト見テ居ル次第デアリマス、尙ホ蛇足ヲ加ヘルヤウデゴザイマスルガ、世上ニ於キマシテ、此勞働組合法ト勞働爭議調停法ト云フモノト不可分ノ關係デアルカノ如ク論ズル方モゴザイマスケレドモ、是ハ申上デル迄モナク、切離シテ衆議院ニモ提出イタシマシタヤウナ次第デ、勞働組合法ガアリマシタ方ガ政府トシテハ無論希望イタス所デゴザイマスケレドモ、此勞働組合法ガ假ニ成立ニナリマシテモ、勞働爭議調停法ト云フモノハ單獨ニ働クト云フコトモ毫モ妨グナイト信ジテ居リマス、尙ホ又治警十七條ノ撤廢ノ爲ニ非常ニ勞働爭議ガ頻發スルノデハナイカト云フヤウナ御疑ヲ各方面カラ御質問モ承リマスノデゴザイマスルガ、是ハ附加ヘテ申上デル必要モナイカモ存ジマセヌガ、矢張

リ同盟罷業ガ世上ノ景氣不景氣、又勞働條件ノ如何ト云フコトガ原因ニナルノデゴザイマシテ、此勞働爭議ヲ致スト云フコトハ單ニ勞力ニ依テ生活シテ居リマスル勞働者ニ取リマシテハ非常ナル苦痛ノコトデアリマスルカラ、無制限ニ之ヲヤルト云フ風潮ハ今日デハ少クトモゴザイマセヌ、治安警察法十七條ノ撤廢ノ爲ニ爭議ヲ頻發スルト云フヤウナコトハ毫モナイコト、考ヘテ居リマス、却テ此勞働爭議調停法ニ依テ將來起ルベキ爭議ノ何割カガ必ズ解決シ得ルト云フ確信ヲ有テ居ル次第デアリマス、後段ニ申述ベマシタコトハ稍、蛇足ノ感ガアリマスルケレドモ、附加ヘテ申上ダタ次第デアリマス

○金杉英五郎君 チョット御伺ヒ致シマスガ、此勞働爭議調停法ハ現下ノ狀況ニ於キマシテハ非常ニ緊要ナル法案デアルト云フコトハ私モ適切ニ感ジテ居ル者ノ一人デアリマスルガ、唯今チョット御説明モアリマシタケレドモ、勞働法案ト云フモノガ成立イタシマセヌ場合ハ、即チ目下ノ五百トカ六百トカ何ノ制裁モナク、何ノ組織立タ規律モナイ勞働組合ノ下ニ斯ノ如キ法律ヲ施行シテ、果シテ能ク都合好ク運用ノ出來ルモノデアリマセウカドウカト云フコトヲ我々ハ深ク疑フノデアリマスガ、チョット御説明モアッタヤウデアリマスガ、尙ホソレ等ニ付テハ差支ノナイモノデアリマセウカ、圓滿ニ運用ノ出來ルモノデアリマセウカ、チヨット言ヘバ相方ノ無イヤウナ今日デハ、私ハ今日マデノ勞働組合ノ組織ナドヲ精シク存ジマセヌケレドモ、大體始終觀察シテ居ル所ニ依リマスレバ、誠ニ無規律ナ組合ノヤウニ思ハレマスガ、サウ云フモノニ對シテ此法律ガ圓滿ニ運用シ得ルモノデアリマセウカドウカト云フコトヲ伺ヒテ

見タイト思ヒマス

○政府委員(長岡隆一郎君) 唯今ノ御質問ハ誠ニ御尤ノ御考トモ考ヘテ居リマス、甚ダ先走りマシテ失禮デハゴザイマシタガ、先程、其一端ヲ申上ダタ次第デアリマスガ、尙ホ之ヲ精シク申上デマスルト、我國ニ於キマスル勞働組合ナルモノハ、今日ニ於テ數ノ上ニ於テハ四百何十ト云フ數ニ上ボツテ居リマスケレドモ、其組合員ノ實數ハ二十万内外デゴザイマシテ、我國ニ於キマスル工場礦山ノ勞働者ノ一割内外ニ止テ居ルヤウナ次第デアリマス、勞働組合法ハ案文ヲ或ハ御覽下サイマシタコトト考ヘテ居リマスル勞働組合ノ現狀ヲ尊重イタシマシテ、之ニ根本的ノ破壊ヲ加ヘルト云フヤウナコトヲ避ケテ居リマス、將來ニ向テ一定ノ基準準則ヲ示スト云フ點ハ考ヘラレテゴザイマスルケレドモ、現在存在イタシテ居リマスル勞働組合ニ對シマシテハ、成ルベク現狀ヲ認メテ、唯、將來ニ向テ據ルベキ基準ヲ與ヘヤウト云フヤウナ趣旨ニ外ナラヌノデゴザイマスルガ故ニ、此勞働組合法ガ假リニ成立イタシマシテモ、私共ノ豫想ニ依リマスルト云フコト、此勞働組合ガ急激ニ増加イタシ、組合員ノ數ガ又急激ニ増スト云フヤウニハ、ドウシテモ考ヘラレナイノデゴザイマシテ、是ハ所謂勞働者ノ自覺ト申シマスルカ、或ハ時勢ノ進歩ト申シマスルカ、又產業界ノ景氣不景氣ト云フヤウナコト、モ密接ノ關係ヲ有テ、此或ハ増加シ或ハ減少スルト云フヤウナコトト考ヘマスルガ故ニ、此勞働組合法ガ假リニ成立イタシマシテモ、勞働組合ノ組織、實力等ガ著シク變化イタスモノトハ實ハ考ヘテ居ラナイノデゴザイマス、デ、勞働爭議ノ起リマスル際ニハ、勿論、此背後ニアリ

マスル労働組合ノ力、若クハ一時のニ出来マスル此爭議團ト云フヤウナ一ツノ團體的ノ勢力ガ出来マセヌケレバ、爭議ガ成立タナイト云フコトハ、多クノ實例ガ之ヲ證明イタシテ居リマスルケレドモ、唯今申上デマシタヤウニ、組合ノ勢力ガ未ダ非常ニ多ク強クナク、又組合法ガ成立イタシマシテモ、急ニ組合ノ實力ガ増加スルモノトモ考ヘラレマセヌカラシテ、此爭議調停法ハ現實ニ法ノ公認イタシマシタ労働組合ノ存在ト云フコトヲ眼中ニ置キマセズ、單ニ事實上存在イタシテ居リマスル労働組合、若クハ爭議ノ際、一時のニ出来マスル爭議團ト云フヤウナコトヲ此法ノ中ニ豫想イタシテ居リマスルケレドモ、労働組合法ニ依テ公認シタル法律上ノ労働組合ト云フモノヲ豫想イタシマシテ、規定イタシマシタ箇條ハ、爭議調停法ニハナイ次第デゴザイマス、申上デルマデモナク、外國ニ於キマシテモ此労働組合法ナルモノガナクシテ、單ニ爭議調停法ガ行ハレテ、是ガ又相當ノ成績ヲ擧ゲテ、圓滿ニ施行サレテ居ルト云フ實例モアルノテゴザイマシテ、外國ノ事例ハ必シモ之ヲ翻譯のニ之ヲ尊重スル必要ハゴザイマスマイケレドモ、免ニ角、此爭議調停ト云フコトト、労働組合ト云フコトガ法律のニ因果ノ關係ヲ成シ、若クハ不可分ノ關係ヲ成シテ居ルモノトハ考ヘラレナイノデゴザイマシテ、尙ホ繰返シテ申シマスレバ、組合法ナルモノガ假リニ成立イタシマセヌデモ、爭議調停法ノ各條文ハ圓滿ニ施行サレ得ルト云フ確信ヲ有テ居ル次第デゴザイマス

○永田仁助君 チョット私ハ將來ノ爲ニ、念ノ爲ニ伺テ置キタイコトガアリマスルガ、外デハアリマセヌ、此労働ト云フ定義ダスネ、範圍ト申シマスルカ、無論、是ハ筋肉労働者ノ爲ダト云フコトノ解釋ハ致シテ居リマスガ、併シ此本法ヲ御制定ニナリマシタ労働ノ範圍定義ダケヲチヨット伺テ置キタイ、是ハ將來ノ爲デアリマス、實ハ先年、某船會社ガ陸上勤務ノ人ガサボラントシテ、各方面ノ支店ヲ閉鎖スルト云フヤウナコトニナリハスマイカト云フヤウナコトモアル、又其船會社ノ海上勤務ノ者ガ陸上ニ上テ、船ヲ出サヌト云フヤウナ傾向ニナツタコトモアル、幸ニシテ都合ヨク解決ハ付キマシタガ、此労働法案ノ爭議調停法ノ労働ト云フ定義ダケヲチヨット、色々將來ニ伺テ少し氣懸リガアリマスカラシテ、此際ニ定義範圍ヲ伺テ置キタイと思ヒマス

○政府委員(長岡隆一郎君) 唯今、永田サノ御質問ハ非常ニ御答ヘニ困難ナ御質問デゴザイマシテ、此労働若クハ労働者ナルモノ、定義ヲ法律のニ申上デルト云フコトハ、是ハ殆ド不可能ニ近イデアリマス、私カラ申上デルマデモナク、此労働爭議調停法ニ限ラズ、其他總テ社會立法ト稱セラレルモノハ此定義ヲ擧ゲルト云フコトハ、成ルベク避ケテ居ルノデアリマシテ、我國ノ工場法ニモ、工場トハ何ヲ云フカト云フヤウナコトハ、一向規定シテゴザイマセヌ、労働組合法ニ於テモ労働組合トハドウ云フモノヲ云フカ、労働者トハドウ云フモノヲ云フカト云フコトヲ法文ノ上ニ書クコトヲ悉ク避ケテ居リマス、是ハ洋ノ東西ヲ問ハズ、サウ云フヤウニ考ヘテ居リマス、是ハ刑法民法等ノ實體法ノ如ク、明カニ此法文ニ用語ノ定義ヲ掲ゲルト云フコトハ、社會立法ニ於テハ餘程困難デゴザイマシテ、此中ニ掲ゲテアリマスル或ハ労働者ナリ、或ハ労働組合ト云フヤウナコトノ觀念ガ世ノ中ノ變化ト共ニ變リマスノデ、先ヅ

其定義ヲ掲ゲテ置キマスルヨリモ、其文字ニ對シマシテ社會ノ常識ナリ、社會ノ通念ナリニ依リマシテ、凡ソ此用語ノ解釋ガ定マツテ行キマシテ、又此用語ガ社會ノ進歩ニ從テ段々ニ變ルト云フコトガ、ドウモ是ハ免レ難イコトノヤウニ伺テ居リマスノデ、是ハ前提デアリマスルガ、此労働者ト云フコトニ付キマシテモ、此労働組合法案ニモ、労働爭議調停法案ニモ、何等規定モゴザイマセヌガ、今日我々ガ社會常識、社會通念ニ依テ労働者ト申シマスルノハ、唯今、永田サノ御指摘ニナリマシタ筋肉労働者ノコトヲ云テ居ルノガ、先ヅ十人ナラ九人マデノ是ハ考デアラウト思ヒマス、銀行ノ「クラーク」デアリマスとか、船會社ノ係給衣食者ト云フヤウナモノモ、或ハ廣イ意味ニ於テ労働者ト申スカモ知レマセヌガ、少クトモ日本ノ今日ノ社會ノ現狀ニ於テハ、是等ノ人自身ガ労働者ト稱シテ居ラズ、又社會モ労働者ト云テ居リマセヌ、所謂労働者ト云ヒマスレバ、雇傭關係ノ下ニ働イテ居リマスル筋肉労働者ト云フ意味ニ解釋シテ居ルノガ、是ガ先ヅ社會ノ常識トシテ通用スルコトデアラウト考ヘテ居リマスノデ、從テ此法案ニ何等ノ説明ハアリマセヌケレドモ、茲ニ書イテアリマス労働者ト申シマスノハ、所謂筋肉労働者デアリマス、唯、何ガ故ニ斯ノ如キ長タラシイ説明ヲ申上ダタカト申シマスレバ、假リニ此法案ガ兩院ノ御協賛ヲ經テ公布サレ、施行サレマシテモ、今、十年カ二十年カ經マシテ、今ノ銀行ノ簿記ヲツケテ居ル人、或ハ船會社ノ算盤ヲ彈イテ居ルヤウナモノノ或ハ「サラリーメン」ス、ユニオン」ト云フヤウナモノノ盛シナリ、又世ノ中ノ狀況ガ變テ來マシテ、是ガ労働者デアルト云フヤウニ社會ガ一般ニ認メ、彼等モ労働者

デアルト云フコトヲ名乗リ、之ヲ自覺スルト云フコトニナリマシタナラバ、是ハ近キ將來カ、遠イ將來カ知リマセヌガ、或ハ今ノ船會社ノ事務員ノ如キモ労働者ノ中ニ入シテ來ル時期ガアルカモ知レマセヌガ、併シソレハ今日ノ問題デアリマセヌ、今日ノ社會ノ實狀カラ申シマスレバ、此労働者ハ矢張り雇傭關係ノ下ニ筋肉労働ニ從事シテ居ル者ト云フノガ正シイ解釋デアラウト考ヘテ居リマス

○赤池濃君 唯今ノ政府委員ノ説明デ以テ此労働爭議ノコトニ付テハ、労働爭議ノ原因ハ景氣不景氣ニ依テ起ルモノデアルトカ、或ハ労働條件ニ依テ起ル問題デアルト云フ御説明デ、繰返シ繰返シ御説明ニナリマシタノハ、其ニ點ニ付テ力説サレテ居ルヤウデアリマスルガ、其外ニサウ云フ爭議ノ起ル原因ヲ御認メニナツテ居ルノデゴザイマス、本案ヲ議スル時ニ於テ其點ハ肝要ナコトト思ヒマスカラ、一應ホテ置キタイと思ヒマス

○政府委員(長岡隆一郎君) 唯今ノ御質問ノ労働爭議ノ起リマスル原因ハ無論、労働條件ノ如何ト云フコトガ大部分ヲ占メテ居ルノデアルト考ヘテ居ルノデアリマスケレドモ、其外ニモ労働條件ニハ關係シテ居リマスルケレドモ、其労働條件ヲ爭フニ付キマシテ、事實ノ誤解ガアリ、或ハ行違ガアルト云フヤウナコトハ多々アラウト考ヘテ居リマス、併シ其問題ハ常ニ労働條件ノ爭議ガ大部分ヲ占メ居リマスルノデ、外國ニアリマスルヤウナ政治上ノ原因ニ基イタ同盟罷業、若クハ同情罷業ト云フヤウナモノハ、マダ我國デハ實例ガアリマセヌノデ、爭議ノ要點トナリマスルモノハ、直接間接ニ労働條件ノ維持改善ト云フヤウナコトガ問題ノ要點ニナツテ居リマスルガ、其原

因ト致シマシテハ、是ハ千差萬別デゴザイマシテ、景氣、不景氣ニ依ルコトモアリマセウシ、感情ノ行違ヒニ依ルコトモゴザイマセウシ、或ハ他ノ色ミナ原因ニ依ルコトモゴザイマセウシ、是ハ一概ニ申上テラレヌト考ヘラレマスケレドモ、争議ノ要點トナリマスル所ハ、大部分ハ労働條件ノ維持改善ト云フコトガ重キヲ占メテ居ルヤウニ考ヘテ居リマス

○赤池濃君 無論労働争議ト云フ以上ハ労働條件ヲ提テ行カナケレバナラヌ、サウデナイト労働條件ノ争議ニナリマセマケレドモ、サウ云フ労働條件ヲ誘發シタリ、若クハソレヲ擴大シタリ、若クハ深刻ニスル、ソレニ付テハ何カ或ル一種ノモノガアッテ、サウ云フコトヲヤラセルヤウナ風ノコトヲ御認メニナッテ居リマスカ、御認メニナッテ居リマセヌカ

○政府委員(長岡隆一郎君) 唯今マデ起リマシタ労働争議ノ大體、表ガゴザイマスルカラ、或ハ御必要ガゴザイマスレバ、表ニシテ差上デテ宜シウゴザイマスガ、或ハ唯今ノ御質問ノ要旨ハ單純ニ労働者ノ自覺、若クハ自主的ノ手段ニ依ラズシテ背後ニ煽動者ガアッテ、心ナラズモ同盟罷業ヲ起スト云フ場合ガアルノデハナイカト、斯ウ云フ或ハ御趣意デヤゴザイマセヌカ、失禮デアリマスガ……

○赤池濃君 私ハ特殊ノ目的ヲ以テ労働争議ヲ煽動シタコトガアルカナイカト云フコトヲ……極ク具體的ニ言ヘバ……

○政府委員(長岡隆一郎君) ソレハ實ハ赤池サンハ私ヨリモ御承知デゴザイマセウガ、歐羅巴大戰後、又大戰中、好景氣時代ニハ随分、所謂労働「ブローカー」ナル者ガ背後ニ居リマシテ、金錢上ノ利益ヲ得ル目的、其他色ミ不純ナル動機ヨリ此質朴ナル

労働者ヲ煽動シテ、不合理ノ争議ヲ起シタト云フヤウ實例モ聞イテ居リマスガ、今日デハサウ云フ惡質ノ「ブローカー」ハ殆ド影ヲ潜メテ居リマシテ、労働争議ヲ起サウト云フ際ハ、大體、此所屬ノ労働組合ニ相談ニ參リマス、相談ニ參リマシテ、色ミ争議部長ナル者ト相談イタシマスルガ、今ハ時期デナイト云フコトヲ言ヒマシテ、此組合ノ争議部デ之ヲ抑ヘル場合モ随分ゴザイマス、又之ヲ抑ヘ切レズシテ争議ニ同意シマシタ時ニハ、争議ノ勃發ト共ニ、其時、其地方ニ乘込ミマシテ援助ヲ致スト云フヤウナコトガ多クゴザイマスルケレドモ、所謂労働「ブローカー」ト稱シテ上ハ前ヲ撥ネテ生活スルト云フヤウナ惡質ノ者ハ餘程減少シテ參リマシテ、組合ノ幹部ノ如キ者ハ今日デハ餘程其點ニ付テハ自カラ注意モシ、又労働者モ斯カル不純ナ者ハ排斥イタシマシテ、以前ヨリモ労働者ヲ食ヒ物ニスル「ブローカー」ト云フモノハ皆無トハ申上デ兼ネマスガ、餘程減少イタシテ居ルト云フコトハ、是ハ認メテ居ル次第デアリマス

○赤池濃君 速記ヲ止メテ下サイマセヌカ……

○委員長(公爵二條厚基君) 速記ヲ止メテ……

○委員長(公爵二條厚基君) ソレデハ休憩ヲ致シテ午後一時半カラ繼續シテヤルコトニ致シマス

午後一時四十九分開會
○委員長(公爵二條厚基君) 午前ノ委員會ニ引續キマシテ、是ヨリ開會イタシマス、委員ノ御希望ニ依リマシテ、懇談會ニ致シタイト思ヒマスガ、御異議ナケレバサウ致シタイト思ヒマス

シタイト思ヒマス
〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○委員長(公爵二條厚基君) ソレデハ懇談會ニ致シマス
午後一時五十一分開會ニ移ル

午後二時九分開會ニ終ル
○委員長(公爵二條厚基君) 速記ヲ始メテ……

○金杉英五郎君 今朝來、約四時間ニ亙リマシテ質問應答ノアッタ結果、此案ニ對スル總テヲ了解イタシマシタ、唯、私ト致シマシテハ労働法ト此案ト不可分ノモノト考ヘテ居リマスルノミナラズ、又此案ヲ運用イタシマスルノニハ、豫テ第一回ヨリ第七回マデノ國際労働會議ニ於テ採擇セラレタル二十一件ノ中、マダ六件ノミ施行シテ居ラレヌ所ノ今日ニ於テハ尙早ノヤウナ感モ致スノデアリマスケレドモ、現下ノ情況ニ照シマシテハ此案ト雖モ無キニハ勝ルト云フヨリハ、是非無ケレバナラヌ案デアルト云フコトハ確信イタシテ居リマスル者デアリマス、ソレ故ニ、時日切迫ノ折柄、尙ホ時日ヲ費シテ審議討論スベキデアリマスルケレドモ、大體是ニテ御同意デアリニナル方ミガ多イト致シマスレバ、ドウカ是ヨリ討論ニ移リマシテ、御緩リ御審議ノ上、通過スルヤウニ致シタイト云フ希望ノ動議ヲ提出イタシマス

○委員長(公爵二條厚基君) 唯今、金杉君ヨリノ御動議ニ依リマシテ、御異議ガ無ケレバ直チニ質疑ヲ是デ打切りマシテ討論ニ移リタイト思ヒマス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○委員長(公爵二條厚基君) 御異議ナイモノト認メマス
○鎌田榮吉君 私ハ此衆議院ノ修正、十九

條ノ修正、即チ原案デアリマスガ、之ヲ籠メタ所ノ本案ヲ賛成イタシタイト思ヒマス、先刻來ノ質問應答ノ中ニモ、労働組合法ノ未ダ成立シナイ前ニ、此争議調停法ノ成立ツコトハドウダラウ、兩々相俟テ其働キヲ爲スモノデナйкаト云フ御議論モアリマス、之ニ對シテ當局ノ御辯明モアリマシタ、其御辯明ニ依ッテ大ニ理解スル所モアリマシタ、ガ是ハ必シモ單純ニ成立チ得ナイコトハナイト思ヒマス、殊ニ此治警十七條……治安警察法第十七條ト云フモノヲ廢止スルト云フコトハ、是ハ數年來ノ懸案デアリマシテ、到底是ハ廢シナケレバナラヌト云フ時期ニ達シテ居ルダラウト思フ、之ヲ廢スルト云フコトニナリマス、所謂誘惑若クハ煽動、ソレカラ暴行脅迫ト云フモノヲ總テ之ニ依ッテ罰スルコトニナッテ居リマスガ、本案ノ誘惑煽動ト云フコトハ此方ニ殘サレテ、暴行脅迫ハ刑法ノ處分ニ依ル、斯ウ云フコトニナリマス、茲ニ十七條ガ廢セラレ、以上ハ亦本案モ共ニ成立シナケレバナラヌ、本案ガ不成立ニ歸スルト云フト、十七條ノ廢止ト云フコトモ見合ハセナケレバナラヌ、是ハ甚ダ都合ガ好クナイコトト思ヒマス、暴行脅迫ハ刑法ニ依ッテ處分セラレルト云フコトニ斷然ナスガ宜シイ、是ハモウ國際労働會議デモ大變議論ノアッタノデ、到底之ヲ存置スルト云フコトハ内外ノ議論ニ徴シテ困難デアリマス、之ヲ廢止スルト同時ニ、本案ノ成立ヲセシムベキモノト考ヘマス、此趣意ヲ以チマシテ私ハ本案ヲ賛成イタシタイト思ヒマス

○永田仁助君 サウスルト十七條ノ暴力行為處罰ガ通過スルト云フコトヲ認メテ賛成ト云フデアリマスカ

○鎌田榮吉君 サウデゴザイマス

○永田仁助君 異議アリマセヌ私共……

○委員長(公爵二條厚基君) 唯今ノ鎌田君ノ御希望ニ對シテハ御異議ナイモノト認メマス、ソレデハ皆様ノ御意向モ大體御賛成ノヤウニ考ラレマスノデ、此案ヲ一括イタシマシテ皆様ニ御諮リヲ致シタイト思ヒマス

○添田壽一君 採決御決定ノゴザイマスル前ニ、私ハ政府ノ御意向ヲ確メ、又表明シテ置イテ戴キタイト思フノデアリマス、詰リ今朝來、開會ノ初メ各位カラ色々御話ガゴザイマシタ、大ニ感ヲ同ジウシ憂ヲ共ニスル點ガ少クナイノデアリマス、殊ニ時日切迫ノ今日、斯ノ如キ重大ナル案ガ審議ニ付セラレタコト、云ヒ、又勞働組合法ノ如キハ金杉博士ノ仰セラレル通り、成ルベク是ハ相伴フベキモノデアアル、又鎌田君カラモ考ヲ共ニサレマシテ、私モ昨日、本會議ニ於テ申上ゲタ通り、全ク御同感デアリマス、故ニ遺憾ナ點ハアリマスルケレドモ、唯今、鎌田君ノ御意見ガゴザイマス通り、衆議院デ審議サレ、修正ヲサレテ、貴族院ニ送付サレタ今日デアアルノデゴザイマスレバ、此衆議院ノ修正ヲ籠メテ通過セシムルト云フヨリ外ナイト思フノデアリマスガ、茲ニ其最後ノ決定ヲナスニ當リマシテ、政府ニ於カレテ、所謂、唯、法ヲ作ルト云フダケデナク、誠意ヲ以テ其法ヲ實行スル、殊ニドウモ近時非常ニ實際ノ行政上ニ於テ遺憾ノ點ガアルト云フコトヲ耳ニ致シマスルカラ、尙ホソレ等ノ點ニ付テ手落チノ無イヤウニナサイマス、ト云フ點ニ付キマシテ、今一ツ御意見ノ宣明ヲ願ヒタイノデアリマス、ソレカラ又第二ニ勞働組合法ナルモノガ制定セラル、ト云フニアラザレバ事ノ完備ヲ期スルコトハ出來マセヌカラ、ソレニ付キマシテハ昨日内務大臣カラモ本議場ニ於テ御明言ゴザイマシタケレドモ、尙

ホ此案ヲ決定イタシマスニ當リマシテ、政府ノ更ニ、此案ノ成ルベク速ニ成立スルト云フコトヲ御努メ下サルヤ否ヤト云フコトノ御意見ヲ御明示煩ハシタイト思ヒマス

○政府委員(鈴木富士彌君) 唯今、添田博士カラノ御言葉ニ付キマシテハ政府ハ能ク了承致シマシタ、勞働問題ノ解決ニ付キマシテハ、今日マデト雖モ政府ハ極メテ慎重ニ且ツ手落チナクヤンテ居ル積リデハアリマスケレドモ、尙ホ外觀カラ見マシテ足ラザル所モアラウト存ジマス、今後ハ此方面ニ一層力ヲ致シマシテ、萬遺漏ナキヲ期シタイト思ヒマス、殊ニ勞働爭議調停法ノ運用ニ關シマシテハ最モ意ヲ用キテヤリタイト思ヒマス、而シテ勞働組合法ガ衆議院ニ提出サレマシテカラ今日マデ相當日モ經ラタノデアリマスルガ、不幸ニシテ會期切迫ノ今日、是ガ審議ヲ終ラズニ居ルト云フコトハ如何ニモ残念至極ニ思フ譯デアリマス、若シ萬一、本年度ニ於テ此議會ニ當貴族院ノ審議ヲ仰グコトガ出來ナイヤウナ狀態ニ立至ルト致シマスレバ、次ノ議會ニ於テハ必ズ早ク之ヲ提出イタシマシテ、御審議ノ上、通過イタシマスルヤウニ致シタイト考ヘテ居ル次第デアリマス、此段御答ヘ致シマス

○委員長(公爵二條厚基君) 此際、チヨット申上ゲタイノハ、唯今、暴力行為處罰ニ關スル法律案ガ特別委員會ニ於テ可決サレタサウデアリマスカラ、チヨット報告シテ置キマス、ソレデハ此兩案ヲ一括イタシマシテ諸君ノ御同意ノ方ノ舉手ヲ願ヒマス

〔總員舉手〕

○委員長(公爵二條厚基君) 全會一致ト認メマス、之ヲ以テ可決イタサレマシタ、是デ散會イタシマス

午後二時三十三分散會

出席者左ノ如シ

委員長 公爵二條 厚基君
副委員長 鎌田 榮吉君
委員 石原 健三君

男爵稻田 昌植君
添田 壽一君

赤池 濃君

永田 仁助君

金杉英五郎君

山崎 龜吉君

政府委員

內務政務次官 俵 孫一君

內務參與官 鈴木富士彌君

社會局長官 長岡隆一郎君

大正十五年四月七日印刷

大正十五年四月八日發行

貴族院事務局

印刷者 內閣印刷局